

## ■増進会自然環境保全研究活動助成基金の助成実績

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●1991年度 ・ミヤジマトンボの保護・増殖に関する調査研究 ・キイロホソゴミンの生息環境と生活史に関する研究 ・リュウキュウアユの保全と復元に関する基礎研究 ・ホクリクサンショウウオ等の保護に関する基礎的研究 ・小笠原諸島の固有陸産貝類の保全に関する研究 ・ネコギギの分布および生息環境調査	澤野十藏 宮野伸也 諸喜田茂充 南部久男 富山清升 渡辺勝敏	広島虫の会 千葉県立中央博物館 琉球大学 富山市科学文化センター 東京都立大学 東京水産大学
●1992年度 ・ハハジマメグロの繁殖生態に関する基礎的研究 ・藤枝市藪田川・磐田市桶ヶ谷沼におけるカワバタモロコの生息環境保全と復元に関する研究 ・赤城山のヒメギフチョウの保護・増殖に関する基礎研究 ・ヒヌマイトンボの生息環境に関する調査研究 ・カワムラナベブタムシの棲息状況と生活史に関する研究	上田恵介 金川直幸 富樫裕 廣瀬誠 佐藤正孝	立教大学 静岡県立静岡南高等学校 群馬大学 水戸市立緑岡小学校 名古屋女子大学家政学部
●1993年度 ・ヤンバルクイナの保護・増殖に関する基礎的研究 ・沖縄島北部地域に生息するイシカワガエル等の生息環境保全に関する基礎的研究 ・ヒヌマイトンボの生息状況と分布に関する研究 ・ヤシャゲンゴロウの生活史と生息地保護に関する基礎的研究	原戸鉄二郎 当山昌直 宮武頼夫 佐々治寛之	本部町立本部中学校 浦添高等学校 大阪市立自然史博物館 福井大学教育学部
●1994年度 ・イボイモリの保護・増殖に関する基礎的研究 ・大分県安岐町・安岐川におけるアカザの生息状況に関する調査研究 ・シャープゲンゴロウモドキの生息状況に関する研究 ・ハチジョウキセルガイモドキの生息状況と生息環境に関する研究	田中聰 星野和夫 湯浅純孝 黒住耐二	沖縄県立本部高等学校 (株)マリーン・パレス(大分生態水族館) 飼育部 富山県生活環境部自然保護課 千葉県立中央博物館
●1995年度 ・ヤエヤマカグラコウモリの繁殖生態に関する基礎的研究 ・アリアケギバチの繁殖生態に関する基礎研究 ・ミズグモの生活史と生息環境に関する研究 ・キリクチ(イワナ)の生息環境・保護に関する基礎的研究 ・カラカネイトンボの生息環境と生態に関する研究	松村澄子 溝入真治 吉田真 名越誠 大澤尚之	山口大学医療技術短期大学部 長崎大学大学院海洋生産科学研究科 立命館大学理工学部 奈良女子大学 高輪高等学校・中学校

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●1996年度 ・ダイトウオオコウモリの保護に関する調査研究 ・降河回遊型魚類類ヤマノカミとカマキリの繁殖、成育生態に関する研究 ・アカメの生息・環境実態調査及び人工増殖に関する基礎的研究 ・シオアメンボの生息状況に関する研究 ・隱岐島産ルーミスシジミの生息状況に関する調査研究	伊青勝 鬼倉徳雄 岩槻幸雄 林正美 淀江賢一郎	南大東村立南大東中学校 九州大学農学部附属水産実験所 宮崎大学農学部 埼玉大学教育学部 山陰むしの会
●1997年度 ・ウケクチウゲイの繁殖生態、生活史の調査研究 ・ヒヨウモンモドキとその生息場所の保護に関する調査研究 ・小笠原諸島における固有トンボ類の生息状況と保全に関する研究	酒井治己 石井実 苅部治紀	水産大学校 大阪府立大学農学部 神奈川県立生命の星・地球博物館
●1998年度 ・ミヤコタナゴの増殖に関する基礎的研究 ・オオイタサンショウウオの保護に関する基礎的研究 ・アベサンショウウオの生息状況に関する調査研究 ・静岡県におけるイドミズハゼ類の分布と生息環境調査 ・シナイモツゴの生息環境に関する研究	秋山信彦 道越祐一 松井正文 金川直幸 佐原雄二	東海大学海洋学部水産学科 宮崎大学大学院大学院 京都大学大学院人間・環境学研究科 静岡県立静岡南高等学校 弘前大学農学生命科学部
●1999年度 ・クビワコウモリの保護・増殖に関する調査研究 ・ヒヌマイトンボの生息地創設に関する基礎的研究 ・イバラトミヨ(雄物型)の生息する湧泉・水路に関する研究 ・越冬期のトモエガモの個体数変動と採食環境に関する調査研究 ・クロイワトカゲモドキ亜種の生息状況と生息環境に関する調査研究	山本輝正 渡辺守 神宮宇寛 桑原和之 太田英利	岐阜県立八百津高等学校 三重大学教育学部 秋田県立大学短期大学部 千葉県立中央博物館 琉球大学熱帯生物圏研究センター
●2000年度 ・希少猛禽類オガサワラノスリの生態に関する基礎研究 ・神奈川県で発見されたキイロホソゴミムシの生息状況と保護に関する研究 ・長野県におけるダルマガエルの分布と生息環境に関する研究 ・南西諸島におけるタウナギの分布および生息環境調査 ・イトヨの生活史における個体群間変異の生態学的研究	加藤夕佳 苅部治紀 澤畠拓夫 松本清二 森誠一	東京都立大学大学院理学研究科 神奈川県立生命の星・地球博物館 岐阜大学大学院連合農学研究科生物資源科学専攻博士課程 檍原市立歛傍中学校 岐阜経済大学生物学

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2001年度 ・神奈川県で発見されたイトアメンボの生息状況と保護に関する研究 ・タガメの保護に関する生態調査 ・夕張・芦別岳のナキウサギの個体群の調査 ・琉球列島産サワガニ類の分類と生息環境に関する研究 ・八重山諸島西表島における絶滅のおそれのある汽水・淡水魚類の生息状況と保護に必要な対策に関する調査研究	守屋博文 平井利明 小島望 成瀬貫 鈴木寿之	相模原市立博物館 京都大学総合人間学部 岩手大学大学院連合農学研究科博士課程 琉球大学理工学研究科博士課程 兵庫県立尼崎北高等学校
●2002年度 ・ゴイシツバメシジミの生息状況と食餌植物の増殖に関する研究 ・山形県産イバラトミヨ雄物型の絶滅回避にむけた保護・増殖に関する調査研究 ・奄美大島産キバラヨシノボリの生態学的研究 ・日本産テナガエビ類の初期生活史に関する研究 ・タガメの繁殖生態に関する基礎的研究	杉本美華 高橋洋 笹邊幸藏 伊藤茜 大庭伸也	九州大学大学院比較社会文化研究科博士課程 独立行政法人水産大学校 鹿児島大学大学院水産学研究科 琉球大学理工学研究科博士前期課程 愛媛大学農学部附属農場修士課程
●2003年度 ・九州におけるオオミノガの生息状況に関する研究 ・絶滅危惧種オガサワラヨシノボリの系統保存に関する研究 ・東京湾の希少ハゼ科魚類の分布及び生息環境調査 ・南部伊豆諸島において絶滅のおそれのある地域個体群と指定されたオカダトカゲの保全生態学的研究 ・長野県におけるホンドモモンガの生息状況および行動域の季節変化	一木良子 横井謙一 高麗行武 長谷川雅美 市川哲生	九州大学大学院農学研究院生物保護管理学講座 近畿大学大学院農学研究科 東京水産大学博士課程 東邦大学理学部 岐阜大学大学院連合農学研究科博士課程
●2004年度 ・沖縄島産シオマネキ個体群の絶滅回避に必要な保全遺伝学的研究 ・絶滅危惧種ミヤマシジミの保全に関する基礎的研究～特にアリ類との共生関係から～ ・日本産チョウ類地域個体群保全のための生態学的特性および保全の実現可能性に関する基礎研究～ウスイロヒョウモンモドキおよびタイワンツバメシジミにおけるケーススタディ～ ・絶滅のおそれのある広島県産ダルマガエル(岡山種族)の保護に関する研究 ・農業用水路におけるスナヤツメの生息環境に関する研究	今井秀行 渡邊通人 中村康弘 内藤順一 中川雅博	琉球大学理学部海洋自然学科 河口湖フィールドセンター自然共生研究室 日本チョウ類保全ネットワーク 広島県立安古市高等学校 近畿大学農学部水産生物学研究室
●2005年度 ・絶滅危惧種ヤンバルテナガコガネの保護・増殖に関する基礎研究 ・北海道豊似湖に生息する絶滅危惧種ニホンザリガニの保護に関する基礎的研究 ・イワサキセダカヘビの食性と人里環境への適応に関する研究 ・ライチョウの感染症制御に関する基礎獣医学的研究 ・個体識別したメダカの水田と水路の利用実態に関する研究	荒谷邦雄 中田和義 細将貴 山口剛士 東淳樹	九州大学大学院比較社会文化研究院 北海道大学大学院水産科学院 京都大学大学院理学研究科 岐阜大学応用生物科学部 岩手大学農学部

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2006年度 ・奄美大島における天然記念物イシカワガエルの保全生態学的研究 ・ウミガメ類(タイマイ・アオウミガメ)放流事業に関する適正な放流時期の解明 ・シャープゲンゴロウモドキの生息地再生による保全に関する研究 ・兵庫県におけるオオサンショウウオの生息適地の推定と保全計画への適用 ・沖縄県における赤土等流出防止によるリュウキュウアユの生息環境の保全に関する研究	加賀谷隆 奥山隼一 西原昇吾 田口勇輝 桜井国俊	東京大学大学院農学生命科学研究科 京都大学情報学研究科博士後期課程 東京大学保全生態学研究室博士課程 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科博士課程 沖縄大学
●2007年度 ・水田地帯に生息するメダカの生息環境の違いが成長へ与える影響について ・南西諸島における絶滅危惧水生甲虫の現状調査と保全策の研究 ・北海道におけるカワシンジュガイの生息環境保全に関する研究 ・ハッタミミズの生息現況調査及び生息環境保全に関する研究	渡部憲吾 北野忠 長坂晶子 伊藤雅道	岩手大学大学院農学研究科修士課程 東海大学教養学部人間環境学科 北海道立林業試験場 横浜国立大学大学院環境情報研究院
●2008年度 ・絶滅危惧固有種オヨギカタビロアメンボの個体群保護と増殖に関する研究 ・トウキョウトガリネズミの分布と食性に関わる基礎研究 ・ダイトウオオコモリの育仔期における環境利用特性に関する研究 ・コアジサシ卵のカラスによる捕食を防ぐための基礎的研究 ・岐阜県におけるカスミサンショウウオの保護に関する研究 ・堅田内湖に生息する琵琶湖固有魚種ワタカの繁殖生態の解明	中尾史郎 南波興之 佐藤亜希子 早川雅晴 高木雅紀 鈴木誉士	京都市立大学大学院生命環境科学研究科 北海道大学環境科学院博士課程 琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻博士前期課程 船橋市立舟橋高等学校 岐阜県立岐阜高等学校 近畿大学農学部水産増殖学研究室
●2009年度 ・長野県安曇野におけるオオルリシジミの保護と増殖に関する研究 ・カワシンジュガイ類幼生の外来サケ科魚類への寄生実験 ・イヌフシの保全を目指した採餌環境の創出計画の立案 ・オオダイガハラサンショウウオ九州個体群およびベッコウサンショウウオの分類学的研究 ・九州におけるイチモンジタナゴ・ワタカ・ハスの定着パターン～希少種・国内外来種の両面を持つ魚類についての研究～	江田慧子 小林収 石間妙子 西川完途 大畠剛史	信州大学大学院農学研究科(AFC昆虫生態学研究室所属)修士課程 長野県長野西高等学校 新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程 京都大学大学院人間・環境学研究科 九州大学水産実験所博士前期課程
●2010年度 ・京都府におけるヒスマイトンボの保全を目的とした人工増殖法に関する研究 ・シオカワヨコエビの保護・増殖に関する基礎的研究 ・タナゴの生活史と環境利用に関する基礎的研究 ・ヒナイシドジョウによる河床間隙域の利用実態に関する研究 ・ブッポウソウ( <i>Eurystomus orientalis</i> )の繁殖生活史に関する研究	高橋純一 富川光 満尾世志人 川西亮太 水野聖子	京都産業大学総合生命科学部 広島大学大学院教育学研究科 東京農工大学農学部 愛媛大学大学院理工学研究科博士後期課程 岡山大学大学院自然科学研究科

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2011年度 ・ルイスハンミョウの保護及び生息環境保全のための研究 ・イスミナガゴミムシの保全に関する基礎研究 ・棚田復元ビオトープにおけるシャープゲンゴロウモドキの生態および生息地保全に関する研究 ・小型コウモリ類の分布を規定する要因の解明－過去の土地利用の影響を把握する－ ・沖縄島におけるマサゴハゼの保護に関する基礎的研究	渡辺雅子 笹川幸治 田中里奈 山中聰 西丸裕敏	阿南工業高等専門学校環境研究部門 東京大学大学院総合文化研究科 新潟大学大学院自然科学研究科大学院前期課程 北海道大学大学院農学研究院修士課程 琉球大学理学部海洋自然科
●2012年度 ・外来捕食者によるオオヒヨウタンゴミムシへの影響の評価と対策 ・ミヤコサワガニの繁殖生態および外来生物による被食の実態の解明 ・九州北部におけるニッポンバラタナゴの積極的保全・保護に向けた条件検討 ・クロイワツカゲモドキ沖縄島亜種の分類学的研究 ・生息環境の保全に向けた繁殖期のクマゲラ生息調査手法に関する研究	高木俊 藤田喜久 川本朋慶 栗田隆気 雲野明	東邦大学 琉球大学大学教育センター 九州大学大学院農学研究院 琉球大学理工学研究科博士後期課程 (地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場
●2013年度 ・トカラ列島北部において絶滅のおそれのあるトカゲ属集団の保全遺伝学的研究 ・希少猛禽類チュウヒの生息地保全に向けた農地利用実態の解明 ・コガタカワシンジュガイ( <i>Margaritifera togakushiensis</i> )個体群の系統地理と保全に関する研究 ・遺伝子汚染を免れた琵琶湖産イケチヨウガイ隔離個体群の保護に関する基礎的研究	栗田和紀 高橋佑亮 竹内基 白井亮久	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻動物学教室動物系統学研究室 岩手大学農学部 岩手県立種市高等学校 武藏高等学校中学校生物科
●2014年度 ・PITタグを用いた小河川におけるギバチ( <i>Pseudobagrus tokiensis</i> )の利用環境の解明 ・オコジョのハビタット選択と餌資源の地上巣巣鳥類巣に関する研究 ・奄美大島及び徳之島における絶滅危惧種アミハナサキガエルの保全生態学的研究 ・クボハゼとチクゼンハゼの生息環境保全に向けた甲殻類の巣穴利用生態の解明	森晃 森本元 小峰浩隆 邊見由美	宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 山階鳥類研究所自然誌研究室 東京農工大学農学府修士課程 高知大学大学院教育学専攻
●2015年度 ・北限域のニホンイシガメの保護・増殖に関する研究 ・福島潟で越冬するオオヒシクイの食性解明 ・メタゲノム解析を用いたアカハネバッタの食草および生息環境の解明 ・愛媛県におけるクロヒカゲモドキの生態および生息地保全に関する研究	小賀野大一 向井喜果 内田圭 窪田聖一	千葉県検見川高等学校 新潟大学自然科学研究科博士課程 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 愛蝶会

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2016年度		
・ミナミアカヒレタビラ個体群の保全のためのドブガイ類増殖の試みおよび浮出稚魚の生息環境の保全に関する研究	鶴海 智佳	鳥取大学大学院連合農学研究科
・琵琶湖に生息する在来型コイの採餌生態に関する研究	吉田 誠	東京大学大気海洋研究所行動生態計測分野博士課程
・トウキョウダルマガエル( <i>Rana porosa porosa</i> )の生息場に影響を与える環境要因の解明と定量的評価に関する研究	中島 直久	東京農工大学大学院連合農学研究科博士後期課程
・トカラ列島におけるイジマムシクイの分布と生態に関する研究	閑 伸一	国立研究開発法人森林総合研究所
・カワネズミの非侵襲的遺伝子解析法の確立とマイクロサテライトマークの開発	閑谷 知裕	信州大学大学院理学工学系研究科
●2017年度		
・カワシンジュガイの生息場劣化機構の解明:水域内外の人為的影響に着目して	石山 信雄	北海道大学農学研究院森林生態系管理学
・局所スケールにおけるニホンザリガニの保全遺伝学的研究	小泉 逸郎	北海道大学大学院地球環境科学研究院
・リュウキュウアユの在来・導入個体群における好適生息環境の解明	河野 誉仁	山口大学大学院創成科学研究科
・奄美大島におけるスマイロオヒキコウモリの生息実態の解明	浅利 裕伸	鹿児島県立畜産大学
・ツシマヤマネコにおけるマイクロサテライトマークの開発及び生態保全に向けた応用	伊藤 英之	京都大学野生動物研究センター
●2018年度		
・外来種との競合下にあるナリタヨコエビの生息微環境の研究	石川 俊之	滋賀大学教育学部
・佐渡島固有種サドガエルの生態および生息環境の解明	岸本 圭子	新潟大学朱鷺・自然再生学研究センター
・圃場整備により強化された「中干し」がトウキョウダルマガエル( <i>Pelophryax porosus porosus</i> )の生活史に及ぼす影響の解明	茂木 万理菜	宇都宮大学大学院農学研究科修士課程
・慶良間諸島におけるケラマトカゲモドキの生息状況調査	栗田 隆氣	千葉県立中央博物館
・ヤンバルクイナの好適生息環境の解明	野澤 文人	琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程
●2019年度		
・五島列島・福江島のヒメミズスマシの保護増殖に関する研究	大庭 伸也	長崎大学教育学部生物学研究室
・イタセンバラの河川間移動をストロンチウム安定同位体比により推定する	太田 民久	富山大学大学院理工学研究部
・操作実験による絶滅危惧種サドガエルの越冬環境の解明	岸本 圭子	新潟大学佐渡自然共生科学センター
・果樹園に生息するアカモズの生息要因に関する研究	赤松 あかり	信州大学農学部
・再導入により完全に遺伝管理された島嶼隔離個体群の保全生態学研究	澤田 明	北海道大学大学院理学院
●2020年度		
・マツカサガイの緊急避難生息域外保全と再導入に必要な条件の解明	松本 浩司	愛媛大学附属高等学校
・環境省絶滅危惧 I B類ヒヨウモンモドキの生息地復元を通した豊かな産地草原環境の再生に関する調査研究	渡邊 通人	特定非営利活動法人富士山自然保護センター
・大阪府豊能郡豊能町牧地区でのギフチョウの産卵環境保全の研究	石井 亘	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
・希少草原性チョウ類の代替生息地としての放棄スキーエ場の評価	小池 伸介	東京農工大学大学院農学研究院
・沖縄島における埋在性魚類の保全に関する生態的基礎研究～埋在性魚類を用いた干潟域の保全の検討～	宮平 拓実	琉球大学理工学研究科海洋自然科学専攻
・山際周辺の水田水域を利用するトウホクサンショウウオ( <i>Hynobius lichenatus</i> )のバイオロギング調査と生息地保全策の検討	青山 光生	宇都宮大学農学部農業環境工学科

研究の題名	申請者氏名	所属機関名
●2021年度 ・行動追跡と市民参加型調査によるタガメの生息地残存要因の解明 ・エゾナキウサギの過去からの分布変化の評価および将来の分布変化の予測 ・新たに発見された生息地におけるキタサンショウウオの生態に関する研究 ・リュウキュウオオコノハズクの保全を目的とした生息環境に関する研究 ・野生復帰に向けたニホンインガメの簡便な域外保全方法の研究	八木沢 謙 崎山 智樹 保坂 拓磨 江指 万里 小賀野 大一	宇都宮大学大学院地域創生科学研究科 北海道大学大学院環境科学院 帯広畜産大学大学院畜産学研究科 北海道大学大学院理学院 放送大学教養学部
●2022年度 ・ヤンヤゲンゴロウの累代飼育の安定化と環境DNAによる生息密度調査手法 ・新潟県の信濃川水系におけるケスジドロムシの生息状況と環境選好に関する研究 ・捕食性外来種防除事業と連動した宮古諸島の希少トカゲ類の生息実態データの収集と資料作成 ・水田のうちで繁殖するヒクイナの行動圏解析:複合的生態系の利用状況の把握	田子多 正貴 岩田 泰幸 安里 瞳 大槻 恒介	大阪公立大学大学院農学研究科 公益財団法人文化財虫菌害研究所 琉球大学大学院理工学研究科 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科
●2023年度 ・絶滅危惧種ミヤマシジミの再導入を再定着に導く生態的な手法の探索 ・普通種はなぜ減少したのか?:島嶼固有陸産貝類シュリケマイマイと人類活動の影響の解明 ・小笠原諸島の希少固有昆虫相の保護に関する研究:外来捕食者グリーンアノールを誘引する新型トラップの開発 ・ニッポンバラタナゴ純系集団の系統保存の必要性を検討する:遠賀川水系における環境DNA広域調査およびタイリクバラタナゴ雑種判定 ・希少種ケナガネズミの非繁殖期における休息場所の特定 ・水深の変化がサドガエルの変態時の特徴に与える影響:江やビオトープを重視した保全対策の改善に向けて	出戸 秀典 平野 尚浩 猪森恒一朗 大鷲 優紀 菊池 隼人 高津 邦夫	東京大学 琉球大学理学部海洋自然学科生物系 東京農工大学 九州大学大学院生物資源環境科学府附属水産実験所 琉球大学理学部 新潟大学佐渡自然共生科学センター